

交換留学帰国報告書

記入月日: 平成 31 年 1 月 24 日

氏 名: 藤堂 智江

留学時所属 & 学年: 国際地域学部 3 年

留学先大学	天主教輔仁大学
留学先国	台湾
留学期間	1 年
留学開始 - 終了日	2018 年 2 月 25 日 - 2019 年 1 月 13 日

報告書上での氏名公開について (どちらかに○をつけてください。)

帰国報告書 : 公開を 希望します ・ 希望しません

月例報告書 : 公開を 希望します ・ 希望しません

【留学前: 留学に至った経緯や留学準備について】

1. 交換留学を希望した動機について教えてください。

長期留学は高校時代からの夢で、大学生活最大の目的でした。初めは単なる憧れだったかもしれませんが、大学に入学し、多くの留学を経験した先輩の話を聞いたりするうちに、私も先輩方のように留学を通して成長したいと思うようになり、今回の留学を決定しました。

2. 留学準備を始めた時期はいつ頃ですか。何から準備を始めたかについても教えてください。

留学準備は半年ほど前から始めたと思います。初めは書類提出などの事務手続きだったと思います。留学先の大学に提出するものや VISA、保険など多くの資料提出が必要でした。

3. 留学先を決めた経緯について教えてください。また、派遣先の大学や現地情報についてどのように情報収集を行いましたか。

実は、高校時代からこの留学を決めるまでは留学するならアメリカだと考えていました。しかし、遂に留学を決めるときになると、アメリカの大学の選択肢はなく、ヨーロッパとアジアのみ。もう半年待ってもよかったのですが、考え直し、中国語も学ぶことができ、食生活も日本に近い台湾を選びました。日本ですでに何人かの台湾人の友達ができていることも理由の一つです。現地情報などについては、留学先大学のホームページを見たり台湾人の友達に直接聞いたりしていました。

4. 留学に向けての語学試験対策、各種語学能力試験などの受験回数について教えてください。

学部で受験必須となっている TOEFL iTP を 4 回ほど受けました。

5. 留学準備を進める際に役に立ったことについて教えてください。

(例: 助言教員、国際課、留学経験者からのアドバイス、大学情報ウェブ、留学オアシスなど)

助言教員の先生が留学先での履修科目についてとても親身に相談に乗ってくださったのと、国際課の職員さんの事務手続きのサポートはとても助けになりました。また、私たちの学部で留学直前に履修必須の留学セミナーも役立ちました。

6. 渡航前の履修登録や単位認定に関して、苦労したことやアドバイスはありますか。

履修科目を決めるのはとても大変でした。単位交換をするためにはできるだけ自分の大学の授業と近い内容であることが求められるうえ、自分が必要な単位に限って留学先大学にないことは多々あるので、日本での履修についても半年か1年前から相手校の授業を視野に入れると一番スムーズにいくと思います。留学先が決まっていなくても、例えば弁論法、異文化コミュニケーションなどの大学でも開講しているような授業は残しておくのも手かもしれません。

【留学中: 大学生活や日常生活について】

A. 大学生活

1. 大学の校風や雰囲気はどうでしたか。

輔仁大学は広くて緑が多くあるとても良いキャンパスです。また、野外でのキャンペーンやイベントもよく見られ、とても賑やかです。学部によりますが積極的な学生も多く、学習へのモチベーションもあがります。



2. 大学構内の設備(ネット環境、学習支援、スポーツ施設等)について教えてください。

ネット環境は素晴らしいです。構内全体で学生専用の Wifi が使えるほか、寮にも一部屋ずつ Wifi がついていました。図書館も4つほどあり、なかには DVD を貸し出している場所もあります。また、ジムやプールもあり、とても安く利用できます。

3. 参加していたサークルや部活はありますか。部員の数や活動内容、イベントなどについて詳しく教えてください。

参加はしていませんでしたが、1 度バルーンアートクラブを見学しました。部員は 10 人弱で、普段は週 2 度ほど練習、何かイベントがある際にバルーンアートを披露するようでした。

B. 授業や勉学

1. 留学先で履修した科目

1	<p>●科目名(担当教員名): Chinese Culture through Foreign Languages (李桂芬)</p> <p>●時間数/週(単位数):3(3)</p> <p>●クラスの学生数: 約 30 名</p> <p>●授業内容・課題(予習・復習の方法等): 英語学科のプロジェクト型の授業で、①台湾(中国)の文化についての講義②グループ毎にそれらの文化についてのプレゼンテーション・ワークショップ③ホームタウンプロジェクト(台湾人クラスメイトの地元の歴史などをきくことができる)の3つのプロジェクトを行いました。課題はその文化についての動画を見て質問に答えたり、グループで授業の準備をすることなどでした。(英語学科所属でなくても履修可のよう)</p>
2	<p>●科目名(担当教員名):Management strategy of Japanese company (劉慶瑞)</p> <p>●時間数/週(単位数):2(2)</p> <p>●クラスの学生数: 約 40 名</p> <p>●授業内容・課題(予習・復習の方法等): 日本語開講の授業で、日本語で書かれた教科書に基づき、先生が中国語で説明します。最後にはグループプレゼンテーションと筆記のテストがありました。教科書を読めば内容は理解でき、先生もとても優しいので質問もしやすいです。</p>
3	<p>●科目名(担当教員名): Advanced English Learning through Musical Drama (劉淑真)</p> <p>●時間数/週(単位数):2(2)</p> <p>●クラスの学生数: 約 30 名</p> <p>●授業内容・課題(予習・復習の方法等):</p>

	<p>基本的に授業中は先生の解説とともにミュージカル映画を見ました。私は"The Sound of Music" "The King and I" "Les Miserables"などを観ました。歴史的背景や英単語を楽しく学べる授業でした。しっかり映画を観て、復習として自分でもその映画について調べたりしました。筆記のテスト、最終プレゼンテーションがありました。</p>
4	<p>●科目名(担当教員名):台日観光実務(戚國福) ●時間数/週(単位数):2(2) ●クラスの学生数:約20名 ●授業内容・課題(予習・復習の方法等): 夜間部の授業で、航空や日本の観光業とそれに関する専門知識についての講義が行われました。最終レポートは資料読み取りで、日本語で書いても大丈夫でした。</p>
5	<p>●科目名(担当教員名): Re-defining Development in the Age of Globalization-Course in English(羅麥瑞) ●時間数/週(単位数):2(2) ●クラスの学生数:約20名 ●授業内容・課題(予習・復習の方法等): この授業は英語開講科目で特にグローバル化社会に視点を当てており、国際的なニュースを取り上げたり、国際機関について学んだり、グローバル社会について深く学ぶことができます。先生はドイツ人のシスターで、独特で興味深い観点をもっていると思います。プレゼンテーションをしたり、世界宗教博物館へ行きレポートを書くという課題もありました。</p>
6	<p>●科目名(担当教員名):Business Letter Writing(Kevin Yao) ●時間数/週(単位数):2(2) ●クラスの学生数:約30名 ●授業内容・課題(予習・復習の方法等): オンラインの授業で、学期に3度ほどのクラスミーティングのほか、2度の筆記テストがありました。英語での手紙や履歴書などの書き方について毎週課される課題をアップロードされたビデオを観てこなします。</p>
7	<p>●科目名(担当教員名):Management(林耀南) ●時間数/週(単位数):3(3) ●クラスの学生数:約50名 ●授業内容・課題(予習・復習の方法等): 英語開講科目で、教科書の重要な部分を先生が英語と中国語で解説します。教科書は英語で書かれています。選んだ企業を分析、紹介するグループプレゼンテーションが1度ありました。</p>

8	<ul style="list-style-type: none"> ●科目名(担当教員名): Introduction to Literature (Paul Bellew) ●時間数/週(単位数): 3(3) ●クラスの学生数: 約 80 名 ●授業内容・課題(予習・復習の方法等) <p>普段の授業では課題で読んできた文学作品についてグループディスカッションをしたり、意見を発表したりしました。学期の後半にはミニプレイコンテストがあり、グループでギリシア神話の演劇をしました。英語学科本科生の必修授業です。</p>
9	<ul style="list-style-type: none"> ●科目名(担当教員名): 基礎翻訳 (頼怡真) ●時間数/週(単位数): 2(2) ●クラスの学生数: 約 30 名 ●授業内容・課題(予習・復習の方法等): <p>日本語の文を中国語に翻訳する授業です。私は 2 年生の授業を選択しました。</p>
10	<ul style="list-style-type: none"> ●科目名(担当教員名): Gender Education (焦源羚) ●時間数/週(単位数): 2(2) ●クラスの学生数: 約 40 名 ●授業内容・課題(予習・復習の方法等): <p>講義のほか、実際に子供が使う玩具やディズニー映画を性差別の視点から観察・評価しました。また、街へ出て店や特定の施設内での人々の動きを観察し発表するという課題もありました。英語開講科目となっていますが、中国語もよく使われました。</p>

2. 授業を受けるにあたって心掛けていたこと、努力や工夫をしたことはありますか。

特に Introduction to Literature の授業は周りから後れを取りたくないと思い、課題は 2 回は読むようにしていました。

3. 学習面で困ったことや、その解決方法について教えてください。

グループワークをする機会が多く、なかにはなかなかスムーズに進まない場合もありましたが、私は留学生だからと引くのではなく、自分から話を進めようと動いたり、分からないことは他のメンバーに聞くようにしていました。

4. 授業スタイルはどのようなものでしたか(講義聴講、ディスカッション等)。また、それに対してどのような印象を持ちましたか。

様々な学科の授業を取ったため、それぞれの授業の雰囲気異なっていて面白かったです。英語、または日本語開講科目と記載されていてもそのクラスの語学レベルまたは学科によって中国語が多く用いられる場合もありました。全体としてはグループワークをする授業が多かったです。それを通してクラスメイトと仲良くなることができたので良かったです。

5. お薦めの教員や授業などがあれば教えてください。

前述しませんでした。春学期に英語学科の TESOL に関する授業に単位をもらわず参加させてもらいました。この授業では近くの小学校で英語の授業を参観し、その後実際に教える機会があり、とても貴重な体験ができます。クラスメイトも先生も大変良い方でした。



C. 居住環境や日常生活

1. 居住場所について教えてください。

形態	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他()
部屋人数	(4)人部屋
寮・アパート名	文徳宿舎
家賃に含まれた費用	<input type="checkbox"/> 光熱費 <input checked="" type="checkbox"/> 水道代 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット代 <input type="checkbox"/> 食費 <input type="checkbox"/> その他()
ネット環境	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
室内設備	<input checked="" type="checkbox"/> ベッド <input checked="" type="checkbox"/> 机 <input checked="" type="checkbox"/> 椅子 <input checked="" type="checkbox"/> クローゼット <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> テレビ <input type="checkbox"/> シャワー・浴室 <input type="checkbox"/> キッチン <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房機器 <input type="checkbox"/> その他 ()
共用設備	(洗濯室、コンビニなど自由に記入してください。) トイレ、シャワー、洗濯機、給水・湯機

2. 大学、住居周辺の施設について教えてください。

(銀行、現地のスーパー、日本食レストランやスーパーの有無など)

キャンパス内の寮なので、寮隣にある食堂やコンビニの他、少し歩けば種類豊富な飲食店が多くあります。日本食レストランやファストフードも揃っています。

3. 現地銀行開設の有無や、現金入手方法、クレジットカードの利用頻度などについて教えてください。また、留学費用や現地での支出の管理はどのようにしていましたか。

銀行は開設しませんでした。クレジットカードも航空券を買う際などにしか利用していません。現金を多めに持っていき、引き出しに南京錠をつけて管理していました。

4. 渡航直後に必要だったものや、あって便利だったものを教えてください。また留学期間を通し、日本から持参すべきだったもの、持参しなくてもよかったと思うものはありますか。

私の寮には中古の布団やハンガー、風呂桶などが格安、または無料で提供されていたり、近くには何でも売っているお店もあったため、とても便利で、特にあれを持ってくれば良かったと後悔したことはなかったです。

5. 留学にかかる必要経費について教えてください。(現地通貨＝台湾ドル TWD)

内容	金額	内容	金額
渡航費	56,000 円	食費	20 万円
保険代	19 万円	家賃	72,000 円
予防接種・ビザ代	2 万円	教科書代	4 千円
交際費(外食等)	1 万円	その他	23 万

合計:約 80 万円

6. 文化・習慣の違いなどで気をつけていたことやアドバイス(服装・マナーなど)があれば教えてください。

台湾と日本は文化が近いためか、これといって気をつけたことはありませんでした。

D. 健康管理

1. 周辺の病院や学内での医療サービスについて教えてください。

大学には付属病院があるほか、約 1 時間ほどかけて行った場所には日本語対応の医院があるようです。

2. 留学中に通院や入院はしましたか。その際にかかった医療費はいくらでしたか。

しませんでした。

3. 渡航前に必要だった健康診断や予防接種、日本から持参した薬などはありますか。

麻疹風疹の予防接種を受けました。日本からは一般的な風邪薬や虫刺されの薬などを持っていきました。

【留学後：成果や今後の進路について】

1. 交換留学の成果について教えてください。

留学前に設定した目標が達成できたか/留学先での学業や生活を通して学んだこと/留学前に期待した以上に達成できたこととその理由/留学中、特に努力したことや心掛けたこと/留学を終えて変わったことなど

留学の目標として、私は中国語と英語の上達、また、グローバル世界の一員としての意味を理解するという3つを設定していました。留学が終わった今、私はこの目標は90%達成できたのではないかと思います。第一に、中国語についてです。この留学に出発する前、また、行ってからも半年ほどはまさか私が中国語を話せるようになるとは思いませんでした。しかし、後期も後半になってくると自分でも大きな上達を感じられ、台湾人の友達や現地の人々と中国語だけを使って会話を楽しめるようにまでなりました。日々の中国語の授業の他、積極的に台湾人と中国語を使って話そうとした姿勢が良かったのかと思います。まだまだ文法や語彙力は不足している上、検定などの勉強もしなくてはならず、努力は欠かせませんが目標は達成できたと言えます。第二に、英語についてです。私は特に英語にもっと力を入れた勉強がしたいと、英語学科を選び、合計4つの英語学科の授業を履修しました。しかし、それらの授業は英語を学ぶと言うより、英語を使って別のことを学ぶ授業で、周りの台湾人学生の英語力の高さを目の当たりにするという刺激的な物でした。英語自体を学ぶ授業は、共通教育に多くあり、私もひとつ履修しました。授業以外でも日常的に英語を使う機会は非常に多く、筆記の能力試験でどうであるかは分かりませんが、話している感覚として、最低でも英会話能力は上がったと思います。第三に、グローバル世界の一員としての意味を理解するという目標がありましたが、これも達成できたと考えられます。台湾は日本から近く、文化も離れておらず、とても受け入れやすいと考えているのですが、ひとつ驚いたことは、他のアジアの国々の人や店、物がとても多く、グローバル化をととても身近に感じる事ができたことです。大学付近にもいくつかベトナム料理屋があったり、公園に行くとお年寄りの介護をしている他の東南アジアから労働に来た人々がいたり、大学には日本を含め他の国からの本科生がいたり、それまで福井で生きてきた私にとっては驚くことがとてもたくさんありました。また、祖先が華僑である同年代の友達やグローバルに働いている社会人とも知り合うことができました。言語についても、それまで全く言語が理解できないという環境にいた経験はほぼなかったもので、それがどういう気持ちか分かったことも良い経験でした。更に、後期にはカメルーン人とスペイン人が新しいルームメイトとなり、お互いの国について紹介・討論し合ったことも私にとってとても重要なことでした。こういった日常を通し、明らかに私の価値観は変化しました。留学前まではどこか自信がなかったのですが、今は私にもグローバル化社会になにか貢献できることがあるように感じているのです。

2. 留学中に達成が出来なかったことやその理由、反省点があれば教えてください。

特にありません。周りの人のお陰で本当に充実した1年間でした。

3. 今後の目標や挑戦したいこと、進路や就職活動について教えてください。

今後の目標は、中国語と英語の能力試験で良い結果を残すことです。これらの言語を生かせるグローバル企業などに就職したいです。

4. あなたの留学先へ交換留学を考える福井大学生へのメッセージをお願いします。

留学先を決める際は私もすごく迷ったし、出発後、初めはヨーロッパに留学した友達がいろいろな国を旅行しているのを知ったとき、羨ましく感じたし、私もヨーロッパにすれば良かったかも、とも感じました。しかし、台湾は本当に温かく優しい人が多く、街も賑やかで、便利で、すぐに大好きになりました。親日家の人や日本語を話せる人が多いので、中国語がうまく話せなくても多くの人が私たちに優しくしてくださったのは本当に嬉しく、幸運なことでした。食に関して、好みによるようですが、私には台湾の味が合い、外食文化なので毎度の食事に何を食べに行こうかとわくわくしながら考える日々でした。また、台湾は国内の交通費が本当に安く、気軽にバスや電車で遠出ができるのも嬉しいことでした。小さい島ながらも全ての場所に行くことはできませんでしたが、西側はほとんどの県へ行くことができました。いろいろな国を旅するのももちろん楽しいですが、ひとつの国内を田舎から都会まで比べながらじっくり知っていくのもとても魅力的なことだと思います。行き残したところはまた次回行った時に訪れよう、と気軽に思える点も日本から近い台湾の良さでしょう。自然へのアクセスが簡単なのも私にとっては魅力でした。

台湾はあまり海外にいるという実感が湧かず、私たち日本人にとって大変馴染みやすい場所だと思うので、初めての海外での長期滞在に不安がある人にもおすすめできる留学先なのではないでしょうか。輔仁大学は本当に便利で賑やかな場所にあり、人々も優しいだけでなく、活発でなにかしら刺激をもらえると思うので、とてもおすすめです。1年間の留学を終えた今、私は自分にとって一番良い選択をしたと思っています。台湾が大好きになっています。積極的にいろいろな場所へ足を運んだり、多くの人と関わったり、新しい活動に参加することも留学生生活を豊かにすると思うので、皆さんがチャレンジ精神をもって悔いのない留学生活を送られることを願います。

